

住民要望

住民要望の処理状況は

県に粘り強く要望をする



やまさき まさお 議員
山崎 正男

のため歩道の設置の要望があるが、町は安全対策を考えているか。

坂折住宅の南側の山林が日照をさえぎり、不健全な生活環境になっているが、これの改善をすべきではないか。

答 大西町長

町分の堤防は県管理であり、河川堤防を守る管理道の位置付けで、現況では河川施設として支障がなく、補修する予定はないとの回答だ。今後も県に対し、粘り強く要望活動を行っていきたい。

浜町は平成27年度において視線誘導表や反射板、あるいは注意喚起看板などを設置したい。

馬地の谷は残土場の確保など、でき得る協力を進め、今後も県に粘り強く要望活動を行っていききたい。

問 住民の要望に対して適切に対応しているのか。処理状況を聞く。
町分の堤防の舗装工事後の雨水の処理問題はどうかになっているのか。
港佐賀橋からすぐに浜町へ左折する道路は、接触事故があったが危険防止策が必要ではないか。
馬地の中の堤防のかさ上げ、または谷底の整備はどのように検討しているのか。
坂折から馬地の町道は舗装の段差解消と児童生徒の安全

坂折の自動車等で走行の状況は確認しているので、早急に手だてを講じたい。児童生徒の安全のための新たな歩道計画は難しい。ただ、安全確保の維持活動は適切に行い、必要に応じて注意喚起表示板の設置等について検討したい。

住宅に当たる日照量は確かに減少している。民有地に対して管理者でない町が対策を講じることはできないが、地域住民の幸せづくりのために、適切に、地権者と向き合いながら、地域の声がかんうように努力をしたい。

避難対策

避難道周辺の
伐採整備は
自主防災組織に
お願いする

問 現在の避難用照明で消えている所があると聞くが、これらの点検は行われているのか。また、台風や自然災害で照明や備品倉庫が壊れた場合に町はどう対応するのか。

避難道や避難場所の周辺について、今は整然としているが、今後、歳月の経過とともに樹木等の定期的な伐採整備が必要になると考える。周辺整備について今後どのように対応していくのか。

答 松本情報防災課長

避難用照明の点検については、現在、定期的な実施はしていない。照明施設を含む法面や舗装、防護柵、水路等の点検は、風水害事後や担当職員が現場周辺に出向いた時に

随時実施をしていく。町が所有する照明や防災倉庫などが壊れた場合は、町の方で修理を実施する。

避難道や避難場所の管理運営については、基本的には関係する自主防災組織等に願います。可能な限り地域との協議をしていくべきと思っています。

その他の質問

※漁業対策について
※町道の振興策について



坂折地区の交通安全と落下防止対策及び日照権対策が必要な個所の一部